

「トウソウ」

2026・8・28 校長 重枝一郎

動物には、生き延びるために必要な「トウソウ」という2つの本能が備わっています。その「トウソウ」とは、「闘争」と「逃走」です。

私たちの祖先は、状況に応じて、この2つの本能を上手に使い分けてきたから、生き延びることができたのです。

何かを達成するためには、果敢にチャレンジしたり、困難なことでも立ち向かったりすることが求められます。この時、「闘争」という本能が役に立ちます。

でも、ただ闘ってばかりいては疲れてしまうし、相手が強敵過ぎると無謀な行動になるかもしれません。がんばることは大切なのですが、がんばりすぎることはよくありません。心身ともに健康であることが何よりも大切なことです。これを犠牲にしてまでも闘うことはよくありません。

自分にとって不運にも相性が合わない人っているかもしれません。もちろん、少しはコミュニケーションをとらないと、相手の真意はわからないとは思いますが……。そんな時は、「逃走」が得策の場合もあります。「逃走」は、恥や悪とは限らないのです。場合によっては、「全力逃走」の時もあるかもしれません。

しかし、みなさんは、「逃走」せずに、「闘争」しなければならない時もあるということとは、経験上わかっているのではないのでしょうか。

いわゆる「がんばり時」のことです。勉強でも部活でも、それは必ずあります。テスト前、試合前の一定期間は、まさに「全力闘争」モードにならなくてはならない「がんばり時」になります。この「がんばり時」に「逃走」してしまう人がいます。息抜き、ストレス解消などと称して、TikTok や Instagram の動画で、時間を溶かすことがその代表例と言えるでしょう。それでも、帳尻を合わせようとがんばって、体調を壊したり、持続力が続かなかったりして、結局トータル的に「がんばり時」になっていないこともあります。

「闘争」の時は、ライバルがいると燃えるという話があります。確かにそういう面もあるかもしれません。でも、私自身、今になって過去を冷静に振り返ってみると、「闘争」は、結局、自分との闘いだっただような気がします。

テストの結果も、入試の合格も、試合の勝利も、最も苦しい「がんばり時」にあきらめたり、「逃走」したりせず、「闘争」し抜いたものだけが成果や栄冠を得ることになります。

「がんばり時」に「闘争」したという過去の経験は、必ず、自分の自信や誇りになっていきます。

君たちならできる！

お祈りをします

主なる神様

いつも生徒たちを守っていただいていることに感謝します

生徒たちが、一度しかないこの青春時代に、「やるときはやる」という、自分で決めて行動する経験を 1 回でも多くさせてください

そのために、常にそばにいて、その時々になさわしい知恵と勇気をお与えください

この願いを主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします

アーメン